

廃棄衣料とその活用

ファストファッションの流行等により、安価でトレンドを素早く取り入れられる一方で、着用回数が減り、短期間で大量の衣料が廃棄されています。日本では年間約80万トンの衣料が供給され、そのうち約48万トンが廃棄されており、そのほとんどが焼却や埋立処分されています。

廃棄衣料の多くは合成繊維で構成されており、焼却時にCO₂を排出するほか、自然分解されにくいいため環境負荷も大きくなります。こうした課題を受け、廃棄衣料を活用する取り組みが求められています。



3D プリント技術の紹介

私たちは、特殊な材料を活用した3Dプリンター技術の開発に取り組んでいます。

その一例として、人肌のようなやわらかさを持つ軟質素材による3Dプリント成形技術を確立し、株式会社ワコール様の乳房手術後の方のためのインナーパッドに活用されています。

このほかにもさまざまな3Dプリント技術の開発を進めており、私たちはそれらを通じて、社会に貢献できる製品づくりを目指しています。



衣料アップサイクル

私たちは、3Dプリンター技術を活用し、繊維をコンポジット樹脂として再生・成形することで、廃棄衣料のアップサイクルに取り組んでいます。

この繊維入り樹脂は、軽量で柔らかな肌触りが特長で、3Dプリントによって柔軟なデザイン対応や少量生産も可能です。

こうした特性を生かし、衣料販売店の店舗インテリアなどへの活用が期待されています。